ありがとう

60年

池上長寿園
60周年記念誌

社会福祉法人　池上長寿園

社会福祉法人
池上長寿園
IKEGAMI CHOJUEN

目 次

理事長挨拶…… 1

大田区長祝辞…… 2

後援会会長祝辞…… 3

沿革 ～理念の系譜～ …… 4-5

未来への創造 ～歴史を紡ぎ、“今”に挑戦する～ …… 6-7

施設事業のあゆみ

　養護老人ホーム池上長寿園／特別養護老人ホーム（ショートステイ含）…… 8

　軽費老人ホーム…… 13

在宅事業のあゆみ

　通所介護事業／居宅介護支援事業…… 14

　訪問介護事業／定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業…… 15

公益事業のあゆみ

　地域包括支援センター…… 22

　若年性認知症支援相談窓口…… 30

　地域支え合い強化推進事業／介護予防事業／介護職員初任者研修養成事業…… 31

経営本部沿革…… 32

60 年のあゆみ（年表）…… 33-36

創立 60 周年記念　挨拶

池上長寿園 理事長　**杉坂 克彦**

1962 年（昭和 37 年）9 月 13 日、大田区池上の地に社会福祉法人池上長寿園が誕生し、本年、創立 60 周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様や大田区長をはじめとする行政の皆様、当法人の事業執行にご協力いただいた皆様、そして関係団体の皆様のおかげです。ありがとうございました。

養老施設（養護老人ホーム）の開設・運営から始まった弊法人ですが、現在ではすべて大田区内で、特別養護老人ホーム 7 施設、高齢者在宅サービスセンター 8 施設、地域包括支援センター 10 ヶ所をはじめ、大田区からの受託・指定管理施設も含めて 39 の施設・事業を展開するまでになっています。これまで弊法人を支えていただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

介護保険法が施行されて 20 年を越えた今、介護保険制度は大きな転換期を迎えています。久しく前から「地域包括ケアから地域共生社会へ」と言われておりましたが、昨年度からは重層的支援体制整備事業の試行も始まっています。大田区の将来人口推計では、2050 年まで高齢化率も高齢者人口も増加し続けます。

このような中にあって弊法人は、大田区民の皆様の善意と熱い想い、そしてゆるぎない信念と実行力により幾多の困難を乗り越えて創設した、まさに「大田区民立」の社会福祉法人であることを誇りに、常に地域と密接な関係性を築き、大田区民の皆様に寄り添った施設運営や事業執行を行って参りました。また大田区の連携団体として、法人の柔軟性・機動性や専門性を活かして区の政策実現や新たな課題に積極的に挑戦する一方、自立・自律した法人として不断に経営改革にも取り組んでおります。

これからも「未来への創造～歴史を紡ぎ、“ 今 ” に挑戦する～」という弊法人の経営理念に基づき、草創の思いを受け継ぎながら「Change & Challenge」の気概をもって、時代の変化に鋭敏に対応した事業展開を図って参ります。

創立して 60 年といっても人間にたとえるならまだ還暦です。人生 100 年時代が到来している今、池上長寿園は 100 年以上続く社会福祉法人となることを目指し、大田区民の皆様が一層幸せになるお手伝いをする社会福祉法人であり続けることを使命として、各種事業を推進して参ります。今後とも皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、創立 60 周年のご挨拶とさせていただきます。

創立 60 周年を祝して

大田区長　**松原 忠義**

社会福祉法人池上長寿園が創立 60 周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

思い起こせば池上長寿園の成り立ちは、まだ介護保険法はもちろん老人福祉法も成立していない昭和 30 年代半ばに、当時大田区内で活動されていた婦人団体の皆様の「区内の恵まれないお年寄りのために老人ホームを作ってさしあげたい」という温かい気持ちから始まりました。そして 2 年に及ぶ募金活動やバザーなどの活動で建設資金を調達なされ、昭和 37 年 9 月に社会福祉法人池上長寿園が誕生、養老施設（現在の養護老人ホーム）を開設されました。幾多の困難があったことと拝察されますが、当時の皆様の熱意によって乗り越えてこられましたことに、心からの敬意を表します。

それ以来、貴法人は地域に密着した社会福祉法人として大田区との絆を深め、昭和 63 年に区内初の特養「大田区立特別養護老人ホーム羽田（当時）」の運営をお引き受けいただいたことを皮切りに、現在では特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、地域包括支援センターなど、多くの施設やさまざまな高齢者事業を展開する法人へと発展を遂げられました。また、近年では法人の専門性や機動性を活かして、若年性認知症支援相談窓口の開設や、重層的支援体制整備事業へのご協力など、区と連携した事業にも取り組み、高齢者福祉の向上に寄与していただいています。

区では、昨年度「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第 8 期大田区介護保険事業計画」を策定しました。この計画は、「大田区版地域共生社会」の実現に向けて、地域の複雑・複合化した生活課題を抱える高齢者の皆様に寄り添った支援を継続的に行う「地域包括ケアシステム」をさらに発展させていくものです。

計画実現のためには、介護や医療、生活支援といったさまざまな分野をつなぐ地域ネットワークの充実に向けた取り組みを進める必要があり、事業を通じて地域との密接な関係性を築いてきた貴法人の協力が不可欠です。区はこれまで同様、区の連携団体でもある貴法人との強固なパートナーシップのもと、高齢者福祉のさらなる充実に向けて、共に力を尽くしていきたいと強く願っています。

末筆ではございますが、貴法人がこれまでの実績と伝統を継承しつつ、大田区の介護・福祉事業を牽引する社会福祉法人としてますますご発展されることを祈念して、お祝いの言葉といたします。

創立 60 周年を祝して

池上長寿園後援会 会長　**利根川 文子**

社会福祉法人池上長寿園が、創立 60 年目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

創立に至った経緯を園史からひもときますと、当時、大田区にありました婦人団体幹部の皆さまの『せめて区内の恵まれないお年寄りのために老人ホームを作ってさしあげたい』との温かい気持ちからはじまったのが、池上長寿園でございます。池上長寿園は、地域に住む皆さまの、温かい気持ちが結んだ法人であり、今では大田区の高齢者福祉の中心的存在にまで成長されました。

私ども池上長寿園後援会はこうした意思を引継ぎ、現在百名を超える会員組織として、法人の設立趣旨と事業に賛同し、共に歴史を育んでまいりました。昨年、一昨年と新型コロナ禍で十分な活動ができておりませんが、これまで特別養護老人ホーム池上の「地域交流まつり」におけるバザー活動など会員の皆様のご協力をいただきながら活動してまいりました。

引き続き池上長寿園後援会は、法人の理念であります「未来への創造～歴史を紡ぎ、“ 今 ” に挑戦する～」に込められた、利用者、地域、法人、そしてそこに働く職員の皆さまの発展に向けた事業に賛同し、応援してまいりたいと存じます。

60 周年をステップアップの年として、社会福祉法人池上長寿園がますますご発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

【沿革】～理念の系譜～

「薄幸の老人達をなんとか幸せにしてあげたいものだ。」
この言葉のもと、地域の善意と情熱から池上長寿園は生まれました。
「自分たちの力でやってみせる。」

昭和 35 年夏。婦人会を中心とした幹部の方々の意気込みは大変なものでした。大田区内の各地域の婦人層が連帯し、以来 2 か年余にわたり 1,200 人以上の方々が老人ホームの建設に懸命の奔走と努力を傾けました。多くの地域に居住する方々の期待と関心に応えながら、昭和 37 年 9 月 20 日、遂に目的を達成いたしました。「慈愛の精神」を理念として掲げ、「恵まれないお年寄りのために」を事業方針として歩んだその活動は、さらなる広がりとなって大田区全域に紡がれていきました。

地域福祉の担い手として期待される役割は、池上長寿園を取り巻く環境とともに変化してまいりました。平成 12 年の介護保険制度移行を契機として社会福祉法人の価値観やあり方が大きく変化しました。そこで、池上長寿園は①経営は自ら創造し利益を追求する、②今までの委託事業から自主自営に変革する過程では経営活動が必須である、③利益は住民の利便に還元する、④競争社会に積極的に参入する革新的な経営姿勢で取り組む、この 4 点に取り組むこととし、平成 16 年、経営理念を「未来への創造」と定め、「広い視野で長期的な展望を持って先駆的な経営を行う」ことを経営方針としました。

経営環境は厳しさを増す中、介護保険制度に適合するための法人改革を積極的に行い、地域社会により貢献できる基礎を整備することがさらに期待されました。そこで、介護保険制度の下で、求められる法人改革を着実に実行し、区民の期待に応えられる法人となること、職員一人ひとりが、法人の未来に明るい希望を持ち、意欲的に職務に精励できる職場環境を整備することを目的とし、平成 21 年、「社会福祉法人池上長寿園　経営健全化計画（フェニックスプラン）」を策定しました。平成 24 年には、地域に関わる幅広い計画を総合的に展開する法人の基本経営計画として「未来への創造プラン」を策定し、「2.0」版、「3.0」版と改定を重ね、現在も進化を続けています。

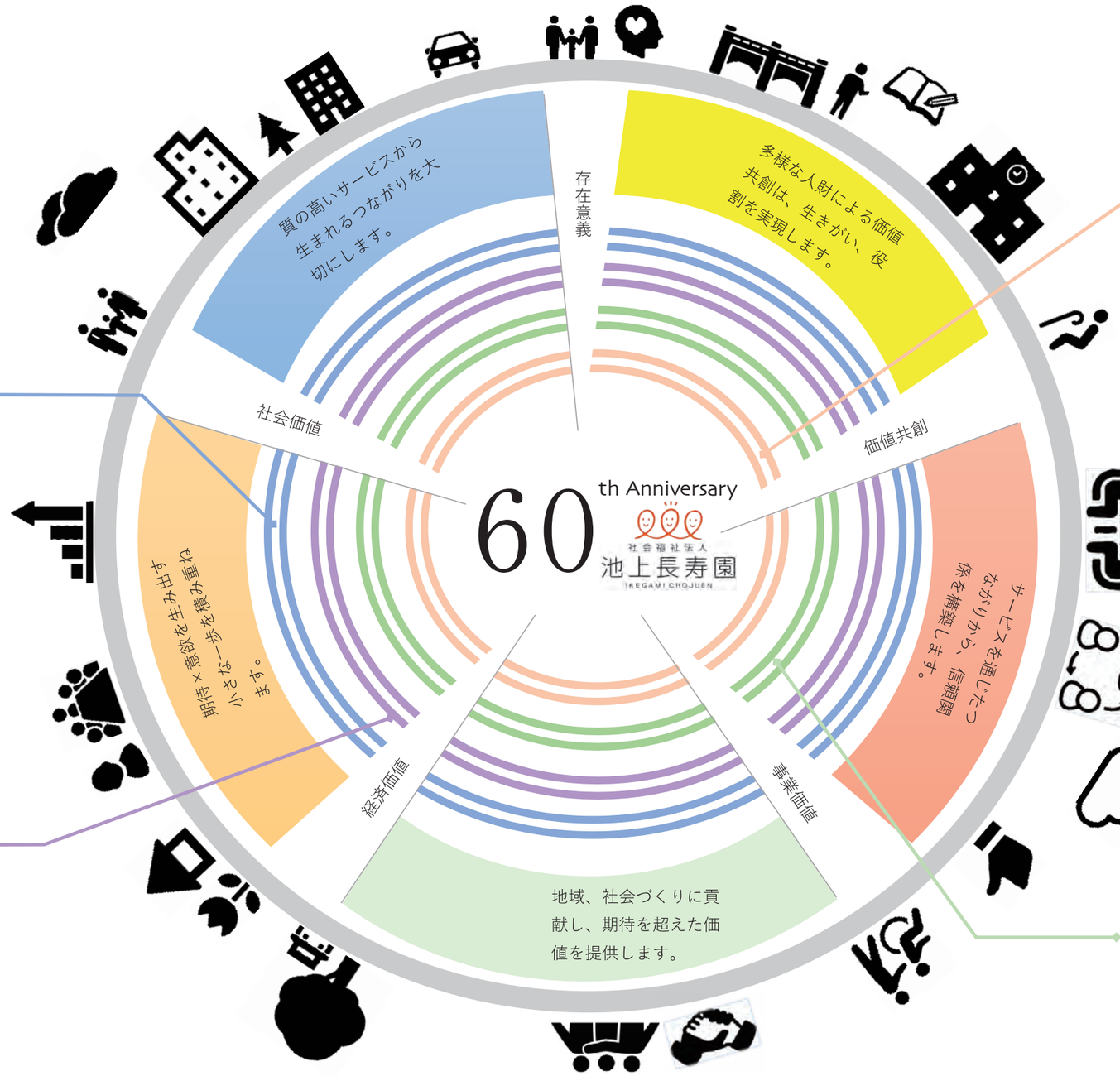
また、平成 27 年に施行された「大田区民営化基本方針」では、これまでの地域における池上長寿園の実績と成果が評価され、特別養護老人ホームおよび在宅サービスセンターが大田区より区内初となる移譲を受けました。その際、未来を創造する活動に挑戦し続けた先達たちの想いを紡ぎ続けるべく、経営理念を「未来への創造～歴史を紡ぎ、“今”に挑戦する～」といたしました。地域包括ケアシステムの構築支援が求められる中で、高齢者一人ひとりの安心感を高め、全世代対応型の持続可能な地域社会を構築することを重要な課題とし、「すべての高齢者が尊厳のある生き方ができるよう支援する」ことに、法人全体で取り組んでまいりました。

池上長寿園は、地域に根差し、地域とともに歩んだ有形無形の財産をもつ社会福祉法人です。地域との結びつきを力に変え、人と人とのつながりをもって、「支え合いの社会」を形成しながら、尊厳のある生き方を常に支援できるようこれからも職員が一丸となって持てる力を注いでまいります。

60th Anniversary
社会福祉法人
池上長寿園
IKEGAMI CHOJUEN

未来へ の創造
～歴史を紡ぎ、“今”に挑戦する～

社会福祉事業を通じて、 その人が幸せであることに貢献する。



Team Work（チームワーク）

ご利用者、ご家族、地域も
チームの一員。

Smile（笑顔）

心温まる笑顔を
お届けします。

Safety（安全）

誰にとっても安全・安
心であることを最優先
します。

Hospitality（おもてなし）

その人の気持ちに寄り添い、
応えます。

ここにデザインされた内容は、地域と共に歩んでいく池上長寿園の姿です。

施設事業のあゆみ

養護老人ホーム池上長寿園

昭和 37 年 9 月社会福祉法人池上長寿園が設立･認可され、養老施設（現養護老人ホーム池上長寿園）が開設されました。住宅事情や経済的な理由により、自宅で生活することが困難になった 65 歳以上の高齢者が入居できるように制度化された老人福祉施設です。平成 27 年に介護保険法が改正されて以降は、外部の介護事業者が提供する居宅サービスを利用できるようになりました。

養護老人ホームは、地域包括ケアシステムの一員として、地域で暮らす高齢者の支援において重要な役割を担っています。

特別養護老人ホーム（ショートステイ含）

昭和 63 年 10 月大田区が設置・開設した特別養護老人ホーム羽田の運営を受託。

その後も池上、大森、蒲田、糀谷、たまがわの区立特別養護老人ホームの運営を担い、平成 18 年からは、大田区指定管理者として、区立特養を経営、平成 27 年には、特養羽田、池上、大森の 3 施設を大田区から移譲され、直営施設として経営。平成 28 年には、特別養護老人ホーム馬込を開設。令和 2 年から、移譲を受けた 3 施設の大規模修繕工事を順次開始。令和 2 年度は、特養羽田が事業休止、令和 3 年度は特養羽田が再開、特養大森が休止、令和 4 年度は特養大森の再開、特養池上の休止を予定。令和 4 年 9 月現在、直営施設・指定管理施設合わせて、7 か所の特養（ショートステイ含）事業を展開しています。

養護老人ホーム池上長寿園

昭和 37 年（1962 年）開設

敬老祝賀会　理事長より祝辞

案　内

〒 146-0081
東京都大田区仲池上 2-24-8
☎ 03-3751-9352
定員：60 名
●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩 15 分

地域交流イベント「青空ヨガ」

クラブ活動「和の会」で芋の種付け

特別養護老人ホーム羽田

昭和 63 年（1988 年）開設

広い空とともにお迎えします

案　内

〒 144-0044
東京都大田区本羽田 3-23-45
☎ 03-3745-5351
定員：特養 100 名
　　ショートステイ 8 名
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 15 分

眺望抜群の立地（多摩川を望む）

祭りは羽田の魂

特別養護老人ホーム池上

平成 3 年 (1991 年) 開設

「鬼も内」のおおらかな心

案　内

〒 146-0081
東京都大田区仲池上 2-24-8
☎ 03-5700-1235
定員：特養 102 名
　　ショートステイ 8 名
●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩 15 分

ルーフテラスで外気浴

無病息災を願います

特別養護老人ホーム大森

平成 5 年 (1993 年) 開設

ボランティア感謝の集いにて

案　内

〒 143-0015
東京都大田区大森西 1-16-18
☎ 03-5471-2701
定員：特養 83 名
　　ショートステイ 8 名
● JR「蒲田駅」または JR「大森駅」から
京急バス「富士見橋」
バス停より徒歩 1 分

外出レクリエーション in 上野動物園

令和 3 年　大規模修繕工事

特別養護老人ホーム蒲田

平成 7 年 (1995 年) 開設

「空中庭園」はご利用者憩いの場

案　内

〒 144-0052
東京都大田区蒲田 2-8-8
☎ 03-5710-0780
定員：特養 104 名
　　ショートステイ 11 名
●京浜急行本線
「梅屋敷駅」下車　徒歩約 4 分

画面越しにご家族とつながります

いつも安全運転で街を走ります

特別養護老人ホーム糀谷

平成 8 年 (1996 年) 開設

地域を照らすカラフルな外観

案　内

〒 144-0034
東京都大田区西糀谷 2-12-1
☎ 03-3745-3001
定員：特養 104 名
　　ショートステイ 11 名
●京浜急行本線
「京急蒲田駅」下車　徒歩 15 分
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 15 分

みんなでお祝い、敬老祝賀会

糀谷地区合同開催の夏祭り

特別養護老人ホームたまがわ

平成 12 年（2000 年）開設

地域の中で、地域と共に 20 年

案　内

〒 146-0092
東京都大田区下丸子 4-23-1
☎ 03-5732-1021
定員：特養 237 名
　　ショートステイ 10 名
　　（うち緊急ショートステイ 3 名）
●東急多摩川線
「鵜の木駅」から徒歩 8 分
「下丸子駅」から徒歩 10 分

たくさんの方々の支えに感謝

その笑顔を守りたいから頑張れる

特別養護老人ホーム馬込

平成 28 年（2016 年）開設

ご入居者職員手作りの桜です

案　内

〒 143-0026
東京都大田区西馬込 2-11-2
☎ 03-6303-8307
定員：特養 30 名
　　ショートステイ 5 名
●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩約 10 分

やっぱりお寿司は大人気

法人初のユニット型施設として 2016 年に開設しました

軽費老人ホーム

昭和 49 年 4 月、東京都が設置、その後、昭和 54 年 8 月、大田区に移管。平成 6 年 4 月、大田区から運営を受託。

平成 18 年からは大田区指定管理者として、軽費老人ホームおおもり園を運営。住宅や家族の事情などの理由により自宅で生活するのが難しい、60 歳以上で自分の身の回りのことや自炊ができ、共同生活に適応できる人が入居する施設です。

平成 31 年度は、耐震工事により事業を休止。令和 2 年 4 月 1 日、耐震工事を終えて再開。地域包括ケアシステムを始め施設を取り巻く社会環境の変化に応え地域高齢者等の生活再建のための施設機能の活用など、大田区地域福祉課、地域包括支援センターと連携し地域のよりどころとしての役割を担っています。

軽費老人ホームおおもり園

平成 6 年（1994 年）受託

毎日のラジオ体操でフレイル予防

案　内

〒 143-0015
東京都大田区大森西 1-8-6
☎ 03-3764-0703
定員：50 名
●京浜急行本線
「平和島駅」下車　徒歩 8 分
●京浜東北線「大森駅」
東口より京急バス
蒲田駅行き「沢田通り」下車　徒歩 3 分

自主活動のガーデニングと草取り

入居者の居室での自炊生活

在宅事業のあゆみ

通所介護事業

昭和 63 年、特別養護老人ホーム羽田の併設施設として、老人福祉法に基づく老人デイサービス事業と老人保健法に基づく機能訓練事業を大田区から運営受託しました。その後、区内 11 か所でこの事業を展開しました。

平成 12 年には、介護保険事業へ移行し、平成 27 年に羽田・池上・大森の３か所の在宅サービスセンターが大田区から法人に移譲されました。

大田区福祉施設整備計画により平成 31 年南馬込、令和２年田園調布、徳持の３か所の在宅サービスセンターは閉所しました。令和４年現在、指定管理施設５か所と民営化施設３か所の計８か所で事業展開をしています。法人が経営する様々な事業と連携しながら、地域包括ケアシステムの体現化を目指し、レスパイトのみならず個別機能訓練や認知症ケア等の専門性に取り組んでいます。

居宅介護支援事業

平成 12 年の介護保険制度導入と同時に、大田区から運営受託していた在宅介護支援センター７か所に併設し事業を開始し、平成 18 年に南蒲田に『ケアプランセンター池上長寿園南蒲田事業所』として統合しました。

平成 18 年の報酬改定で特定事業所加算を取得しました。取得条件には高いスキルを求められており、日々研鑽を重ね現在までこの加算を維持できるよう取り組んでいます。また、職員は地域貢献活動を積極的に実践し、地域からもその存在意義を評価されています。

訪問介護事業

平成８年大田区在宅介護支援センター糀谷の開設とあわせ、ホームヘルパー派遣事業として運営を受託開始しました。その後、平成９年に蒲田、平成 10 年に池上の在宅介護支援センター３か所に併設されました。福祉事務所に配置された専門職と連携しながら、ヘルパーが家庭を訪問し家事援助と身体介護を提供しました。

平成 12 年介護保険制度導入に伴い介護保険事業へ移行し、平成 18 年に蒲田、糀谷の２つの事業所を統合、居宅介護支援事業所と併設して『ヘルパーステーション池上長寿園南蒲田』を開設しました。

平成 27 年に開設した『ヘルパーステーション池上長寿園池上』は、平成 31 年にサテライト機能を残し、南蒲田に統合しました。

高齢者が１日でも長く住み慣れた地域で生活しつづけられるために、一番身近な自宅で提供されるケアを行う重要な役割をもっています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

平成 28 年に 24 時間、医療・介護のサービス提供を行う『池上長寿園 24』を特別養護老人ホーム池上に併設しました。

事業の特徴は、24 時間必要な介護を定期訪問すること、随時オペレーターへの相談対応や必要に応じた随時訪問を提供していることです。また、医療の提供には連携先の訪問看護ステーションが対応します。

在宅生活に、ケアスタッフが入り、より効果的なアセスメントによって『必要なサービスの内容と量』をはかることができ『何かあったときに連絡がつくので安心につながる』等を強みとしています。

地域包括ケアシステムのなかで『必要な医療と介護をいつでも適切に提供すること』により在宅生活が持続できるよう取り組んでいます。

羽田高齢者在宅サービスセンター

昭和 63 年（1988 年）開設

令和 3 年リニューアル

案　内

〒 144-0044
東京都大田区本羽田 3-23-45
☎ 03-3745-7854
定員：一般通所 35 名
　　認知症対応型通所 12 名
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 15 分

1F 通所介護・総合事業のスペースです

5F 認知症対応型通所介護のスペースです

池上高齢者在宅サービスセンター

平成 3 年（1991 年）開設

心も身体も元気いっぱい

案　内

〒 146-0081
東京都大田区仲池上 2-24-8
☎ 03-5700-1239
定員：一般通所 35 名
　　認知症対応型通所 12 名
●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩 15 分

集中しております！お上手

大人気のアレンジフラワー

大森高齢者在宅サービスセンター

平成 5 年（1993 年）開設

令和 4 年リニューアル

案　内

〒 143-0015
東京都大田区大森西 1-16-18
☎ 03-5471-2702
定員：一般通所 35 名
　　認知症対応型通所 12 名
● JR「蒲田駅」または JR「大森駅」から京急バス「富士見橋」バス停より徒歩 1 分

選択レクのご様子です

外出訓練のご様子です

蒲田高齢者在宅サービスセンター

平成 7 年（1995 年）開設

チーム力で皆様を支援して行きます

案　内

〒 144-0052
東京都大田区蒲田 2-8-8
☎ 03-5710-0782
定員：一般通所 40 名
　　認知症対応型通所 12 名
●京浜急行本線
「梅屋敷駅」下車　徒歩約 4 分

皆様のご趣味は何ですか。ご希望にお応えいたします

楽しく元気に生活するための活動

糀谷高齢者在宅サービスセンター

平成 8 年（1996 年）開設

広くて開放感のあるフロアーです

案　内

〒 144-0034
東京都大田区西糀谷 2-12-1
☎ 03-3745-3006
定員：一般通所 40 名
　　認知症対応型通所 12 名
●京浜急行本線
「京急蒲田駅」下車　徒歩 15 分
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 15 分

趣向を凝らした作業を提供します

リフト付き個浴を新設

下丸子高齢者在宅サービスセンター

平成 8 年（1996 年）開設

楽しい新年会

案　内

〒 146-0092
東京都大田区下丸子 4-25-1
☎ 03-3750-8701
定員：一般通所 45 名
　　認知症対応型通所 12 名
　　若年性認知症通所 HOPE 4 名
●東急多摩川線
「鵜の木駅」下車　徒歩 8 分
「下丸子駅」下車　徒歩 10 分

外出訓練でお参りです

HOPE 事業の社会活動の様子です

矢口高齢者在宅サービスセンター

平成 8 年（1996 年）開設

季節のイベント、スイカ割り

案　内

〒 146-0093
東京都大田区新蒲田 2-12-18
☎ 03-5711-0851
定員：一般通所 25 名
　　認知症対応型通所 12 名
●東急多摩川線
「矢口渡駅」下車　徒歩 5 分

天気の良い日は散策

毎月恒例の外出訓練

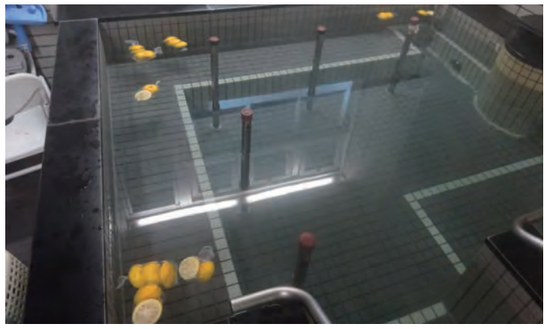
たまがわ高齢者在宅サービスセンター

平成 12 年（2000 年）開設

午後のお楽しみ、レクリエーション

案　内

〒 146-0092
東京都大田区下丸子 4-23-1
☎ 03-5732-1023
定員：一般通所 20 名
　　認知症対応型通所 12 名
●東急多摩川線
「鵜の木駅」から徒歩 8 分
「下丸子駅」から徒歩 10 分



自慢のお風呂も季節を感じて

当センターも 20 年を超えました

ケアプランセンター南蒲田

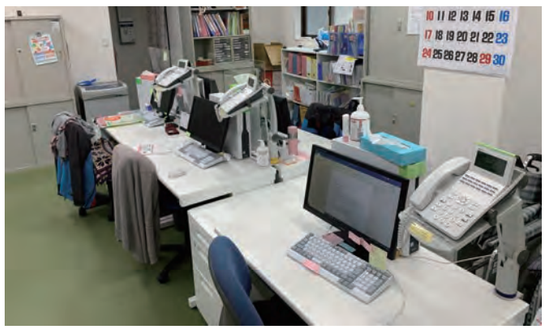
平成 18 年（2006 年）開設

笑顔をお届けします

案　内

〒 144-0035
東京都大田区南蒲田 2-9-8
☎ 03-5713-1255

●京浜急行本線
「京急蒲田駅」下車　徒歩 8 分
●京浜東北線、東急池上線、東急多摩川線
「蒲田駅」徒歩 20 分



いつでもお電話お待ちしております

地域の窓口です

ヘルパーステーション南蒲田

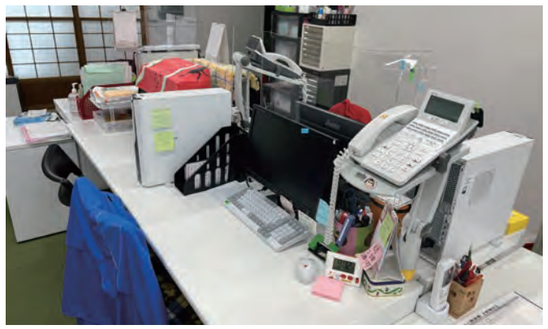
平成 18 年（2006 年）開設

元気をお届けします

案　内

〒 144-0035
東京都大田区南蒲田 2-9-8
☎ 03-5713-1366

●京浜急行本線
「京急蒲田駅」下車　徒歩 8 分
●京浜東北線、東急池上線、東急多摩川線
「蒲田駅」徒歩 20 分



ヘルパーさんの憩いの場

地域のお助け隊

定期巡回池上長寿園 24

平成 28 年（2016 年）開設

365 日 24 時間　地域を巡回訪問します

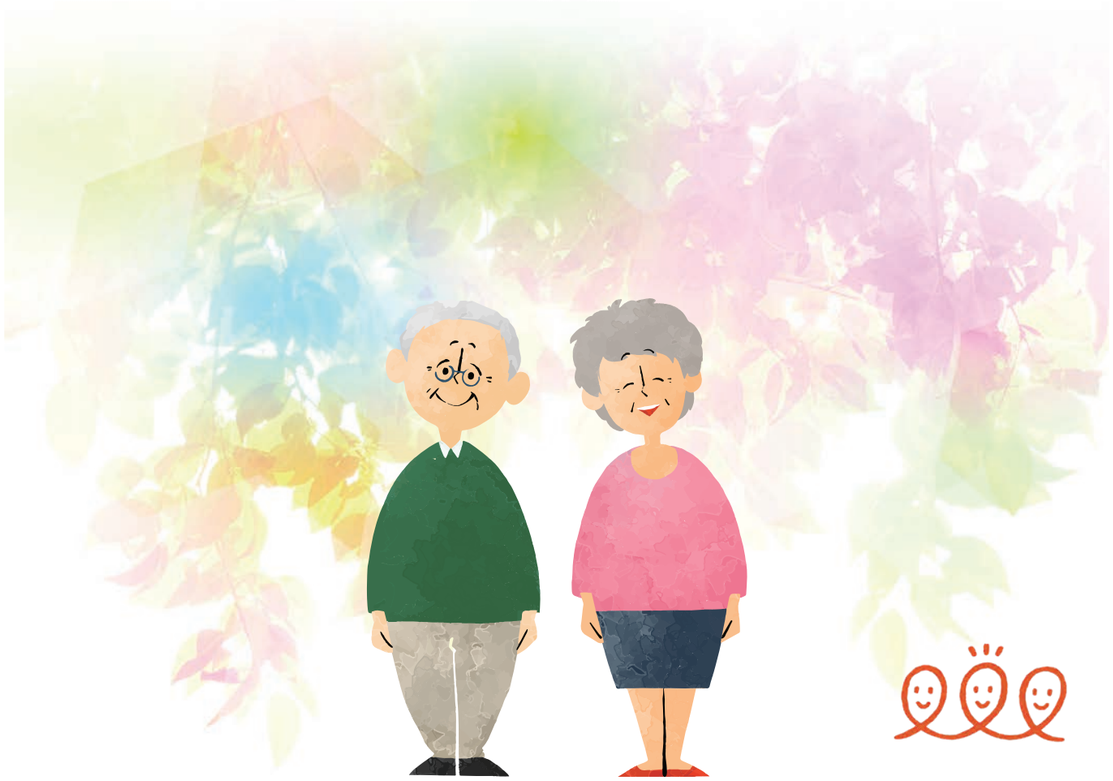
案　内

〒 146-0081
東京都大田区仲池上 2-24-8
☎ 03-6410-5711

●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩 15 分

事務仕事は手早く

バイクと自転車で訪問します



公益事業のあゆみ

地域包括支援センター

平成 12 年介護保険制度導入と合わせて地域包括支援センターの前身となる大田区から運営受託していた在宅介護支援センター 7 か所を居宅介護支援事業所と併設し事業を開始。平成 18 年 4 月、介護保険法改正に伴い、在宅介護支援センターは地域包括支援センターへ移行。平成 28 年 4 月、大田区は地域包括ケア体制構築を目的としたモデル事業として、シニアステーション事業を開始することになり、シニアステーション田園調布と田園調布西を併設する地域包括支援センター田園調布を受託。地域で身近な介護予防・元気維持・総合相談体制を一体化した事業を実践、利用者増と満足度向上に貢献しています。平成 30 年 4 月大森東地区で特別出張所に併設された地域包括支援センター大森東の運営を受託。同年 11 月羽田地域力推進センター内に、特別出張所に併設された地域包括支援センター羽田、シニアステーション羽田を合せて受託。令和 4 年 5 月、新たに開設した地域包括支援センター新蒲田及びシニアステーション新蒲田を受託。現在、地域包括支援センター 10 か所、シニアステーション 4 か所を受託し、大田区の地域包括ケアの深化・推進に尽力しています。

地域包括支援センター糀谷

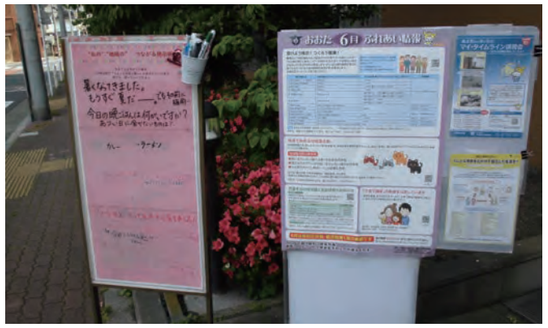
平成 8 年（1996 年）開設

チーム一丸となって支援します

案　内

〒 144-0034
東京都大田区西糀谷 2-12-1
特別養護老人ホーム糀谷内
☎ 03-3741-8861
対象地域：糀谷特別出張所管内
●京浜急行本線
「京急蒲田駅」下車　徒歩 15 分
「大鳥居駅」下車　徒歩 15 分

みんなのねがい、素敵な思い出とともに


地域の方とのコミュニケーションに活用しています

地域包括支援センター蒲田

平成 9 年（1997 年）開設

地域資源の地図を作りました

案　内

〒 144-0052
東京都大田区蒲田 2-8-8
特別養護老人ホーム蒲田内
☎ 03-5710-0951
対象地域：蒲田 1 丁目～ 3 丁目及び 5 丁目
東蒲田 1 丁目～ 2 丁目
●京浜急行本線
「梅屋敷駅」下車　徒歩約 4 分

窓口の様子です

子ども向けの認知症講座です

地域包括支援センター久が原

平成 10 年（1998 年）開設

ご相談を受けに、自転車で訪問へ

案　内

〒 146-0081
東京都大田区仲池上 2-24-8
特別養護老人ホーム池上となり
☎ 03-5700-5861
対象地域：久が原特別出張所管内
●都営地下鉄浅草線
「西馬込駅」下車　徒歩 15 分

声掛けてラジオ体操でフレイル予防

図書館での認知症普及啓発イベント

地域包括支援センターたまがわ

平成 12 年（2000 年）開設

「集いの場」などの情報があります

案　内

〒 146-0092
東京都大田区下丸子 4-23-1
特別養護老人ホームたまがわ内
☎ 03-5732-1026
対象地域：鵜の木特別出張所管内
●東急多摩川線
「鵜の木駅」から徒歩 8 分

窓口や電話、訪問でお受けします

専門職がお手伝いします

地域包括支援センター羽田

平成 12 年（2000 年）開設

羽田・萩中ふれあい祭りに参加

案　内

〒 144-0043
東京都大田区羽田 1-18-13
羽田地域力推進センター 2 階
☎ 03-3745-7855
対象地域：萩中 1 丁目～ 3 丁目
羽田 1 丁目～ 6 丁目　羽田旭町　全域
羽田空港 1 丁目～ 3 丁目　本羽田　全域
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 7 分

羽田パスポート（フレイル予防）

民生委員の皆様との勉強会

地域包括支援センター大森

平成 12 年（2000 年）開設

ご相談、お待ちしております

案　内

〒 143-0015
東京都大田区大森西 2-16-2
こらぼ大森 1 階
☎ 03-5753-6331
対象地域：大森西 1 丁目～ 7 丁目
●京浜急行本線
「平和島駅」または「大森町駅」下車
徒歩約 7 分

こらぼ大森に事務所があります

元気になる木で地域とつながります

地域包括支援センター西蒲田

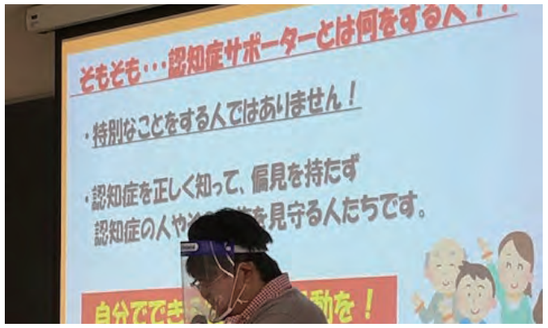
平成 13 年（2001 年）開設

チームワークで支援します

案　内

〒 144-0051
東京都大田区西蒲田 7-49-2
社会福祉センター 7 階
☎ 03-5480-2502
対象地域：西蒲田 1 丁目～ 8 丁目
多摩川 1 丁目の一部
東矢口 1 丁目～ 2 丁目の一部
●京浜東北線
「蒲田駅」西口下車　徒歩 5 分

窓口の相談風景です



学生へ認知症サポーター養成講座

地域包括支援センター田園調布

平成 28 年（2016 年）開設

令和 4 年 1 月に移転オープンしました

案　内

〒 145-0071
東京都大田区田園調布 1-30-1
田園調布特別出張所 2 階
☎ 03-3721-1572
対象地域：田園調布 1 丁目～ 5 丁目
雪谷大塚町 2 番～ 23 番
●東急東横線・目黒線
「多摩川駅」下車　徒歩 5 分

小学校での高齢者体験教室の様子です

地域の中で様々なフレイル予防教室を実施しています

地域包括支援センター大森東

平成 30 年（2018 年）受託

大森東特別出張所の 2 階です

案　内

〒 143-0013
東京都大田区大森南 4-9-1
大森東特別出張所 2 階
☎ 03-6423-8300
対象地域：大森東特別出張所管内
●京浜急行バス　森 26・56 系統
「大森駅－森ケ崎」

出張所とコラボして地域へ発信

地域の皆様の想いが詰まった折鶴です

地域包括支援センター新蒲田

令和 4 年（2022 年）開設

カムカム！新蒲田～！新大田区百景：蒲田操車場前にて

案　内

〒 144-0054
東京都大田区新蒲田 1-18-16
新蒲田一丁目複合施設 3 階
☎ 03-6715-9731
対象地域：新蒲田 1 丁目～ 3 丁目
多摩川 1 丁目の一部及び 2 丁目
東矢口 2 丁目の一部及び 3 丁目
● JR 京浜東北線
「蒲田駅」下車　徒歩 12 分

窓口でご相談お待ちしております

お気軽にご相談ください

シニアステーション田園調布

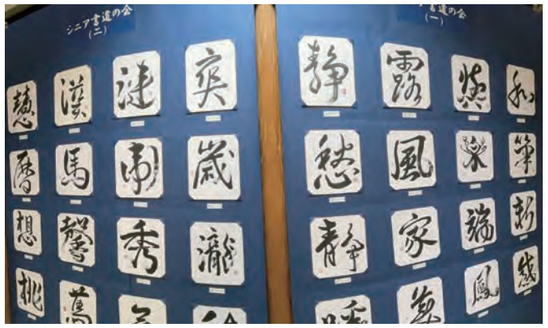
平成 28 年（2016 年）開設

地域の皆様の健康とお仲間づくりをお手伝いします

案　内

〒 145-0071
東京都大田区田園調布 2-58-5
☎ 03-6715-6900
●東急東横線・目黒線
「田園調布駅」下車　東口より徒歩 4 分

体操をはじめとしたさまざまなプログラムを提供しています



書道等たくさんの趣味いきがい活動を実施しています

シニアステーション田園調布西

平成 28 年（2016 年）開設

知り合い、集い、語らう場所があります

案　内

〒 145-0071
東京都大田区田園調布 4-44-9
☎ 03-3721-8066
●東急東横線・多摩川線
「多摩川駅」下車　西口より徒歩 15 ～ 20 分

地域の皆様が作品を作りながら交流しています

講師による体操教室で楽しく介護予防に取り組めます

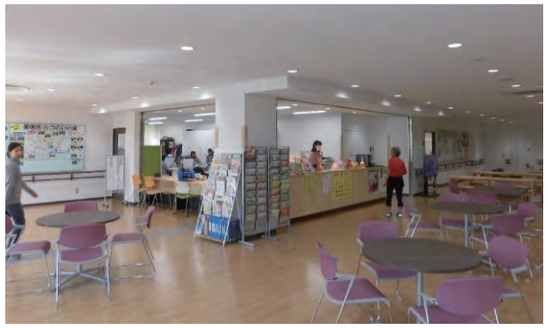
シニアステーション羽田

平成 30 年（2018 年）開設

羽田地域力推進センターの 2 階です

案　内

〒 144-0043
東京都大田区羽田 1-18-13
羽田地域力推進センター 2 階
☎ 03-6423-7220
●京浜急行空港線
「大鳥居駅」下車　徒歩 7 分



いつでも気軽にいらしてください

シニアステーション羽田の健康体操

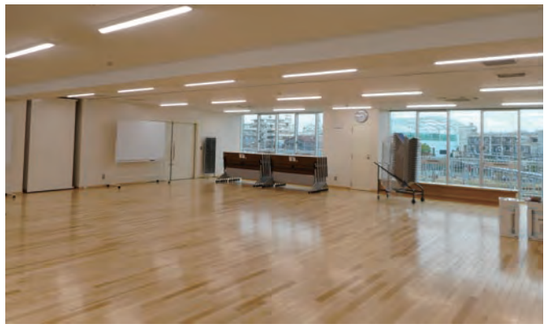
シニアステーション新蒲田

令和 4 年（2022 年）開設

カムカム新蒲田 3 階です

案　内

〒 144-0054
東京都大田区新蒲田 1-18-16
新蒲田一丁目複合施設 3 階
☎ 03-6715-9731
● JR 京浜東北線
「蒲田駅」下車　徒歩 12 分



明るいシニアステーション

包括支援センター・シニアステーション窓口

若年性認知症支援相談窓口

令和２年 10 月大田区若年性認知症支援相談窓口を大田区立特別養護老人ホームたまがわ内に開設。２名の大田区若年性認知症支援コーディネーターを配置し、医療・就労・福祉・社会保障など多岐にわたる課題に対して、さまざまな制度を横断的に、必要なサービスや機関とつなげるための伴走支援を実践。若年性認知症の方ご本人やそのご家族が普段の生活を可能な限り自らの力で継続していけるよう、ご本人の能力を主体的に発揮できる環境づくりなど寄り添った支援を展開し、住み慣れたまちで安心して暮らせるまちづくりをめざします。

若年性認知症支援相談窓口

令和２年（2020 年）開設

専属のコーディネーター

案　内

〒 146-0092
東京都大田区下丸子 4-23-1
☎ 03-6459-8591
予約制
●東急多摩川線
「鵜の木駅」から徒歩８分
「下丸子駅」から徒歩 10 分

お気軽にご相談ください

オンライン相談も受付けています

地域支え合い強化推進事業

平成 30 年フレイル予防の地域づくりを展開するため地域支え合い強化推進事業を受託。地域包括支援センター田園調布、糀谷、大森東に地域さささえあい強化推進員を配置。令和元年地域福祉計画に基づく支援と共生の地域づくりを目的に地域包括支援センター西蒲田に１名増員。令和２年地域共生社会づくりに向けた強化のため地域包括支援センター大森に１名を増員し事業を拡充。令和３年から大田区社会福祉協議会に配置される地域福祉コーディネーターの執務場所、役割、名称を統合。地域の複雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため「包括的相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」と紐づけました。同事業を受託する他社会福祉法人と共に包摂的に支援する体制づくりを目指しています。

介護予防事業

平成 18 年、地域支援事業における介護予防事業を大田区からの受託事業として事業を開始。運動機能などの衰えにより要支援や要介護状態になるおそれのある高齢者の方に、当法人の高齢者在宅サービスセンターや大田区の施設を会場にして介護予防運動指導員をスタッフとして、転倒予防、筋力向上を図るプログラムとして、いきいきシニア体操を実施しています。

介護職員初任者研修養成事業

平成 27 年から、介護職員初任者研修養成事業を開始しました。研修の内容は、介護職員の基本的な知識・技術を習得することです。大田区内または近郊に在勤・在住のいずれかで、介護職員として働くことに意欲を持つ 16 歳～65 歳以下の方を対象とします。

介護職員初任者研修　修了式

経営本部沿革

【養護老人ホーム事務室から本部事務局、そして経営本部へ】

平成３年に仲池上に移転してからは、養護老人ホーム事務室で、大田区退職職員４名と、養護老人ホーム事務員１名で本部事務と施設事務を兼務していました。

大田区立の受託事業施設数について、平成 12 年度までに特養９施設、高齢者在宅サービスセンター15 施設と増加されることが予定されていたため、法人の管理機能強化を図るべく、平成８年４月には、本部事務局を養護老人ホームと分離独立させ、事務局長並びに総務課及び財務課を設置することとしました。また、執務場所も養護老人ホームと別棟の本部棟を平成 10 年に設置することとなりました。

平成 12 年には介護保険制度がはじまり、大田区の委託事業から指定管理制度、利用料金制度へと移行し自立した経営が求められる中、本部事務局は経営本部へと改組しました。

現在は事務局長、次長を配置し、経営企画課、人財課、管理課、総務課（大規模修繕・調整担当）、事業担当課長（施設事業、在宅事業、公益事業）で構成するに至っています。

きめポーズ長寿エンジャー！

入社式　これからよろしくお願いします。

本部棟築 25 年を迎えます

60 年のあゆみ

年	法　人	社会・大田区
1960年 昭和35年	大田区老人ホーム建設協力委員会　結成	カラーテレビ放送開始
1962年 昭和37年	社会福祉法人　池上長寿園　設立 社会福祉法人　認可 養老施設（養護老人ホーム）池上長寿園　開設	蒲田駅東口駅ビル完成
1963年 昭和38年		老人福祉法　施行
1964年 昭和39年		東京オリンピック開催 東海道新幹線開業
1965年 昭和40年		都から特別区に福祉事務所を移管
1970年 昭和45年		大阪万国博覧会開催
1975年 昭和50年		都から特別区に保健所事務を移管
1976年 昭和51年		区の木「クスノキ」、 区の花「ウメ」を制定
1979年 昭和54年		軽費老人ホームおおもり園が 都から区に移管
1984年 昭和59年		大森駅ビル完成 大田区平和都市宣言
1988年 昭和63年	大田区立特別養護老人ホーム羽田　開設 大田区立羽田高齢者在宅サービスセンター　開設	
1989年 平成元年		消費税 3％スタート 東京都中央卸売市場「大田市場」完成

養護老人ホーム開設時中道院正面

養護老人ホーム創立 10 周年集合写真

養護老人ホーム創立 20 周年記念式典

年	法　人	社会・大田区
1990年 平成2年		区の鳥「ウグイス」を制定
1991年 平成3年	大田区立特別養護老人ホーム池上　開設 養護老人ホーム池上長寿園　移転 大田区立池上高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区立西蒲田高齢者在宅サービスセンター　開設	大田区と米国セーラム市が姉妹都市提携 バブル崩壊
1993年 平成5年	大田区立特別養護老人ホーム大森　開設 大田区立大森高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区立南馬込高齢者在宅サービスセンター　開設	
1994年 平成6年	大田区立軽費老人ホームおおもり園　受託	
1995年 平成7年	大田区立特別養護老人ホーム蒲田　開設 大田区立蒲田高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区立田園調布高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区立徳持高齢者在宅サービスセンター　開設	阪神・淡路大震災　発生
1996年 平成8年	大田区立特別養護老人ホーム糀谷　開設 大田区立糀谷高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区在宅介護支援センター糀谷 （訪問介護事業併設）　開設 大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター　開設	大田区産業プラザ（PiO）開館 初の高齢社会白書発表
1997年 平成9年	大田区在宅介護支援センター蒲田 （訪問介護事業併設）　開設	消費税率 5% へ
1998年 平成10年	大田区在宅介護支援センター池上 （訪問介護事業併設）　開設	大田区役所本庁舎が大森から現在の蒲田へ移転 区民ホール（アプリコ）開館
2000年 平成12年	大田区立特別養護老人ホームたまがわ　開設 大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター　開設 大田区在宅介護支援センターたまがわ・居宅介護支援事業所たまがわ　開設 大田区在宅介護支援センター羽田　開設 大田区在宅介護支援センター大森　開設 併設在宅介護支援センター5か所に居宅介護支援事業所　開設	介護保険法施行 社会福祉事業法を社会福祉法へ改称
2001年 平成13年	大田区在宅介護支援センター西蒲田・居宅介護支援事業所西蒲田　開設	アメリカ同時多発テロ発生

年	法　人	社会・大田区
2004年 平成16年	大田区立西蒲田高齢者在宅サービスセンター 事業廃止	
2006年 平成18年	大田区在宅介護支援センターが 大田区地域包括支援センターに名称・機能変更 3か所の訪問介護事業所をヘルパーステーション池上長寿園南蒲田へ統合 7か所の居宅介護支援事業所をケアプランセンター池上長寿園南蒲田事業所へ統合 介護予防事業　開始	
2009年 平成21年	経営健全化計画 （平成21年度（2009）～平成25（2013）年度）　策定 大田区地域包括支援センター池上が 大田区地域包括支援センター久が原に名称変更	
2011年 平成23年		東日本大震災　発生
2012年 平成24年	未来への創造プラン （平成24年度（2012）～平成27年度（2015））　策定	大田区スポーツ健康都市宣言 大田区総合体育館開館
2015年 平成27年	羽田・池上・大森事業部門（特養・短期入所・通所介護）が大田区より移譲され直営施設となる 介護職員初任者研修養成事業　開始 ヘルパーステーション池上長寿園池上　開設	マイナンバー制度が運用開始
2016年 平成28年	未来への創造プラン2.0 （平成28年度（2016）～平成32年度（2020））　策定 特別養護老人ホーム馬込　開設 定期巡回池上長寿園 24　開設 大田区地域包括支援センター田園調布　開設 （シニアステーション田園調布・田園調布西 2事業所含む）	
2017年 平成29年		国際都市おおた宣言
2018年 平成30年	大田区地域包括支援センター大森東　受託 大田区地域包括支援センター羽田　移転 （シニアステーション羽田　開設を含む）	

年	法　人	社会・大田区
2019年 平成31年 令和元年	大田区立南馬込高齢者在宅サービスセンター 事業廃止 ヘルパーステーション池上長寿園池上　南蒲田に統合 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター 若年性認知症デイサービス事業（HOPE）　開始	消費税率 10% へ
2020年 令和2年	大田区立田園調布高齢者在宅サービスセンター 事業廃止 大田区立徳持高齢者在宅サービスセンター 事業廃止 若年性認知症支援相談窓口事業　開始	新型コロナウイルスが世界で大流行
2021年 令和3年	未来への創造プラン3.0 （令和3年度（2021）～令和5年度（2023））　策定 地域支え合い強化推進事業　開始 大田区地域包括支援センター大森　移転	東急池上駅ビル完成
2022年 令和4年	大田区地域包括支援センター田園調布　移転 大田区地域包括支援センター新蒲田　開設 （シニアステーション新蒲田含む）	

60 周年記念誌編集

【60 周年プロジェクトチーム】

杉坂克彦（理事長）
柴田一生（常務理事・事務局長）
丸山泰一（専門参与・事業担当次長）
落合邦男（企画担当次長・総務課長）
大川直人（次長・経営企画課長）
後藤美砂子（総務課長補佐）
藤平かおり（養護老人ホーム池上長寿園施設長）

【60 周年ワーキングチーム】

倉持美和子（下丸子高齢者在宅サービスセンター）
小柳寛子（特別養護老人ホーム糀谷）
石栗義和（地域包括支援センター蒲田）
後藤美砂子（総務課長補佐）
藤平かおり（養護老人ホーム池上長寿園施設長）

社会福祉法人　池上長寿園

60 周年記念誌

令和 4 年 9 月発行

●

発　行
社会福祉法人池上長寿園
〒 146-0081　東京都大田区仲池上二丁目 24 番 8 号
電話　03-5700-6171

印刷：株式会社 気生堂印刷所
〒 143-0015　東京都大田区大森西 4 丁目 6 番 13 号
電話　03-3766-1711

ありがとう、60年。

「60年の歴史に思いを馳せ、Change&Challenge の気概を胸に
地域と共に100年以上続く社会福祉法人に！！」

60 th Anniversary

社会福祉法人
池上長寿園
IKEGAMI CHOJUEN